

JR労働者が働きやすい環境づくりと、社会に寄与する労働運動をつくらう！

# 東日本ユニオン 仙台地方本部

JR東日本労働組合仙台地方本部 発行責任者：竹嶋公生 編集責任者：竹田浩幸  
仙台市宮城野区東六番丁31-2 NTT・電話 221-7375 NTT・FAX221-7509  
JR・電話031-3906 JR・FAX 031-3909 PCアドレス：shokichou@eos.ocn.ne.jp

## 2017 春闘勝利を主な取組みとする 第3回地方委員会開催

1. 社員一律6千円の基本給増
2. エルダー、CS社員の賃金を社員に準じたアップ
3. 定期昇給の昇給係数は4係数とすること

2月の勤務公表に於いて「時季変更権の行使を保留」という異常事態となり各職場で混乱が起きた。東労組は1カ月締結の主

### 36協定問題

昨年4月に発生した熊本地震、8月の台風による被害、10月の鳥取地震と多くの自然災害が発生した年であった。犠牲、被害に合われた方にお見舞いを申し上げる。



仙台地本 竹嶋委員長

### 竹嶋委員長挨拶



2月に勤務公表に於いて「時季変更権の行使を保留」という異常事態となり各職場で混乱が起きた。東労組は1カ月締結の主

張に対し、会社側は6カ月の主張となり結局、何の解決もなまま3カ月の締結となった。今後の動きについて注視していかなくてはならない。

### 安全の確立

JR東日本は順調な業績を上げている。労働条件を変えうる体力は十分にある。あくまでもベアにこだわる立場で、昨年と同様のベア6,000円を求めて2017春闘を闘う。



議長に選出された 佐藤委員 (福島連合分会)

東日本ユニオン仙台地本は3月4日、福島市「コラッセ福島」にて第3回地方委員会を開催し、安全確立・2017春闘勝利・組織拡大に向けた運動方針を満場一致で可決した。委員会議長には、福島連合分会の佐藤委員が選出され、議事が進行された。4名の地方委員より発言があり、エルダー問題、業務・組織等についての発言があった。

### 2017春闘

に向け取組んでいく。

昨年、横浜、長野地本で組織拡大があった。仙台地本も組織拡大は最大の課題である。

### 組織強化拡大

若し社員から選択される労働組合として成長し続ける、その先にJR労働運動の大同団結・一元化の展望がある。引き続き、組織拡大の流れになるよう

第1回春闘交渉を3月1日に行い要求の趣旨説明を行い、3月10日第2回交渉が行われる。



本部 渡辺委員長

### 渡辺本部委員長挨拶

取り組んでいく。JR連合から脱退し8ヶ月が経過。この間、産別運動ができない状態であったが、昨年10月、連合山形・山形交運労働協にオブ加盟が認められた。これまでの取組みに感謝する。

へ我々が一石を投じて、どんな交渉が出来るかが問われてくる。職場、地域から本部交渉を押し上げて欲しい。

エルダー交渉を2月23日開催し、運用に関わる内容について議論した。

仙台地本も含め各地本で申入れを行っている。4月開催の業務・組織担当者合同会議で突合せを行い中央、地方で議論していく。

また、効率化施策が進んでいる。現在5万7千人で仕事をしているが、今後の退職者、新規採用者数を見ると将来は4万7千となる。東京支社内では将来残るのは15駅、他は業務委託されるが、それと共に無人化も進められていく。JR東日本としての安全やサービスはどうなるのかと言ったことを我々として考えていかなくてはならない。そして、エルダーの本体雇用も求めていく。

JR連合加盟について、在るべき労使関係像として、ユニオン組織方針草案の考え方は一緒である。今後もJR連合の判断を待っている。東労組から拡大し、受け皿となるべき組織となるよう努力していこう。

大同団結・一元化はスローガンではなく運動方針として自信と確信を持って取り組んでいく。その先には社会的立場に立った運動がある。

委員発言



山形車セ分会  
草薨委員

◎限定運転士の要員が少なく養成後も転勤となり、担当者に負担が掛かっている。

・新幹線車両検査周期延伸となる。それに伴い要員はマイナス2となった。今後、車両の安全とサービスは守れるのか。

・現場長が全般検査の外注化を前提に作業担当を決めている。テクノでも何の話もない。見切り発車では現場が混乱する。

・エルダー職場を秋田に希望したが叶わず退職を選択した組合員がいる。粘り強い交渉をお願いする。

・よい職場環境を作るには、組織を超えた闘いも必要となる。我々が先頭に立ち要求を作り上げ、組織拡大にも繋げていきたい。



宮城連合分会  
渡辺エルダー  
代表

◎チェック機能を持ったユニオンの組合員がその職場に行ったことでその実態が明らかとなった。今後、その職場で交渉のできる体制を作って欲しい。

・12月常磐線相馬〜浜吉田間が再開した。頻繁に風規制により遅れが生じている。風速計の位置も含め対策を要請して欲しい。

・若い組合員の考えを聞くことを目的に千葉地本との交流を行った。仙台地本として隣接の新潟地本の若い組合員との交流を行って欲しい。



山形駅連分会  
藤本委員

山形新幹線各駅のホーム上の雨漏りが頻繁に発生し、お客さまにご迷惑をおかけしている。修理後もすぐに発生している。業者選定も含めしっかりとした建物の管理を要請して欲しい。



新庄地区分会  
江口分会長

北海道の経営が危惧される中、今後の東日本との関係について

集約 答弁

◎地方委員からの発言に対し、全ての執行委員から回答があった。小さな地本でもみんなが活動をしている実感が持てた。また、全職場の全組合員は会社と交渉する権利を持っている。自覚と自信を持って業務課題に取り組んで欲しい。

・2017春闘では、一人一スローガンの取組みを行う。100%を目指す。

・エルダー問題では、ある職場で就業規則を見たところほとんどが守られていないことが分かった。慣例として行われは正されない実態だ。交渉はできないが、チェック機能を持った組合員から足掛かりを作っていきたい。また、エルダー職場が廃止されるところも出てきている。会社の丸投げは許さない。

・JRバス東北とバス関東の交流、そして、JR連合バス連絡会との接点を築いていきたい。

◎阿部組織部長

・皆で話し合い、皆で行動する組織がこれからの仙台地本の姿となるよう全組合員が自覚を持ち活動していこう。

**2017春闘**  
全組合員で勝ち取る意識で闘おう  
組合員一人一スローガンで意識を持った闘いを押し進めよう!



行事予定

- 4/29・山形県メーデー
- 5/12・本部ソフトボール大会
- 5/22・仙台地本第3回ゴルフ大会・山形ゴルフクラブ
- 7/8・本部第5回定期大会
- 8/22・仙台地本第4回定期大会  
仙台市「アエル」

組合員異動 (敬称略)

- 2/28・退職・伊藤孝紀・山形車七分会
- 3/1・エルダーへ・小嶋康治・山形駅連分会(SCSP)
- 3/1・エルダーへ・菊地敬二・福島連合分会(Jテック会津若松)